



OUT THERE Itoshima 志摩園だより

2016. 10.31発行
社会福祉法人
志摩会
第53号

福岡県糸島市志摩久家2527番地の2
TEL092-328-2121
E-mail shimakai@proof.ocn.ne.jp
<http://www.shimaen.or.jp>

特別養護老人ホーム志摩園
ショートステイ
デイサービス
ケアプラン
配食サービス

小規模多機能型居宅
介護

糸島市志摩地域包括
支援センター

地域貢献：オレンジ志縁隊・げんき志縁隊・せいかつ志縁隊、たまり場岐志・桜野・
姫島茶所、おこもりカフェ岐志浜



志摩園夏祭り

雨のち虹、そして星空へ ...

カワユク、クールでひたむきな表現力をもつダンスは
りくつ抜きで
カッコイイ！



8月6日 志摩園夏祭り

結局この日だけ

梅雨明けから約3週間、立秋の前夜に夕立の洗礼にもかかわらず、志摩園夏祭りは25分遅れでスタートできました

ボランティアの皆さんが雨で濡れたイスやテーブルの拭き上げにも大活躍！ 感謝感激です！！



いよいよ本番です。…今年も素晴らしいステージに



沖繩三線
砂川勝廣様

詩吟・カラ
オケ

井手和彦様



キッズチア

南風様

オリンピックにも

比肩する躍動感です



来場者参加 カキ氷の早食いゲーム

入園者カラオケ



パッションハート様

伊恋様



アーヤラビタ様



華麗な演技に大感動です。ご出演の

皆様誠にありがとうございました

8月15日

師吉行政区盆踊りのお手伝い



職員有志で臨時結成の“祭り志縁隊”が地域の盆踊りを応援しました



地元消防団の皆さんが焼き手に

笛や太鼓に、口説きが始まると踊りの輪が…師吉行政区の皆様ありがとうございました

志摩園委員会活動報告 身体拘束廃止委員会 編

志摩園の7つの常設委員会のひとつであり、28年度は生活相談員と介護職員の併せて8名で活動しています。

平成28年9月下旬に開催した志摩会全体研修会で今年度の取組みの中間報告を含めた発表を行いました。

当日の発表内容

(1) 2つの身体拘束と言葉による拘束(speech lock)説明

①ドラックロック（不適切な薬剤の長期投与）、②フィジカルロック（体を縛る、閉じ込めるなど物理的な力による行動制限）、③スピーチロック、つまり言葉による拘束は、例えば「動いたらダメ」「立たないで」「ちょっと待って」など相手の行動を妨げるような声掛けを言いますが、判断基準はありません。

介護者のそのような言葉かけも決して悪意からではなく、安全確保のために発するときが多いのです。

しかし、相手の行動の抑制、制限することに違いありませんので、志摩園では職員によるスピーチロックの廃止に取り組んでいます。

(2) スピーチロック廃止を目指したグループワーク

《他の人の居室に入ろうとされている方への適切な声掛けとは》という設定です

主な意見

なぜ、その部屋に入りたいのか聞いてみて考える

“すみません、お待たせしました、こちらです”と不快な思いをさせない

声の大きさにも意識して、心のこもった言葉かけをする

リーダーコメント

スピーチロックは誰でも悪い事だと分かっていると思います。言葉や態度に出てしまう時に“ハッ”と気づいて反省し、改善できるようになりたい。スピーチロック廃止の相乗効果で接遇が良くなるだけでなく、ケアの質向上と私たち職員も人として成長することにも繋げていきたい。

否定的な言葉かけはせず、まずはどうしましたかと用件を聞く



ご自宅の
看取りを
支える

たからんたま志摩 小規模多機能型事業所

地域包括ケア時代の「看取り」



高齢化がピークを迎える2040年前後に向かって、最後まで《地域で生き抜くための生き方》を選択できる環境づくりが全国で推進されています。それは、自分の命を全うする、その時のことを元気な時分から考えてみる、こと、イメージしつつ、しっかり心を構えることを求められる時代です。

○たからんたま志摩の看取りケア ～地域包括ケアシステムの到着地点を理解して

今回は、何と云っても、ご本人とご家族が「住み慣れた家で往く」という確固な意思をお持ちの方の支援でした。だから、職員も内外部の関係者の皆さんとチームケアでがんばれ、ベストプラクティスの経験をさせていただきました。

【心理・社会面】

【制度面】

☆当事業所を6年以上利用くださっており、ご本人、ご家族の心身の状況も含め、職員もよく理解し、お互いが信頼関係を築けていた

☆地域のかかりつけ医師の支援が得られていたことは関る人全員に心強く、看護職員の緻密な状態報告等と相俟って、往診を求めることも無く、全ての過程でスムーズに連携ができた

☆職員の中にも看取りの未経験者や病院、介護保険施設の経験だけだったりそのバックグラウンドは様々だったが、今回皆で在宅の看取りに携わる間にも人として、職員として成長できた

☆ご本人、ご家族の状態に合わせ、通いや泊りを調整し、体力低下が著しくなれば訪問中心に提供する等、その多機能性を最大限発揮できた

☆ご家族の不安が大きいときは、受診同行もし、その後の家族フォローが円滑にできた

☆終末期以降には、ご家族から夜間も電話による相談や報告を受けることが増えたが、夜勤職員と非番の看護職員の協力があり、ご家族の安心に寄与できた

☆自宅での看取り、延命は希望しないことを決断された、ご家族の命の向合い方を教えられた

☆当事業所固有の課題ではあるが、看護職員の配置が1名のため、特に看取り期は夜間や非番の時も連絡することが多く、心身の負担が大きかった

☆ご自宅で過ごされる時も吸引等の医療的サービスが不要な方であった。今後在宅でこのような処置が必要な方への対応が課題のひとつ

地域包括ケアシステムとしての看取り
☆24時間365日対応できる訪問機能を持つ医療サービスの整備(特に看護サービス)

☆在宅で最期を迎えることにもつ漠然とした不安を解消する啓もう活動

☆母体施設(例えば特養)と小規模多機能型との職員の業務協力の制限緩和

【成功要因】

【要改善点】

たからんたま志摩は地域の皆様のニーズに柔軟に取り組めるように、自己変革を厭いません

百歳を目前にした方の約2週間の看取りの時間に焦点を絞った報告となりましたが、24時間体制の小規模多機能型事業所ならではの成果を発揮したと自負しています。調子の良いときに短時間でも通いを利用されれば他のご利用者とお互いエールを交わし、在宅時は近所の方、ご親戚の訪問があり、中味の濃い時間をお過ごしできたと思いたいです

☀️ OPEN おこもりカフェ岐志浜

おこもりカフェ岐志浜は、向こう3ヶ月ごとの“週替り”メニューを用意して皆様のご来店をお待ちしています

第19回 運営会議、岐志浜区、おこもりカフェ岐志浜の合同企画で《七夕まつり》を復活しました (8/6)



子供から高齢者、大学生のボランティアほか、多くの地域住民の皆様が参加してくださいました
昔は朝露の墨で願い事を書いていた由、さて現代は

チラ見

- ・一生、夏休みになってほしい
- ・大好きな新しい本が買えますように
- ・クロールの息継ぎができるように

大人編

- ・彼女と幸せになりますように
- ・楽しい老青春を
- ・グランドゴルフでホールインワンを

第20回 (8/20)

第21回 (9/10)

第22回 (9/17) 敬老記念寄席



カフェコーディネーター古賀による「戦後昭和の歩み」を語り合い。



語り手ボランティア友納様の絵本の読み聞かせと紙芝居に新聞社の取材も。

第23回 (10/1)

第24回 (10/15)



人気の地元海岸をドライブ。雨上がりの景色は一層美しく、帰ってもその話でもちきりでした。



ボランティアグループ絆様のもの語り読み聞かせ、紙芝居やハーモニカ伴奏つきで懐かしい歌を。

満員御礼

九大落語研究会六松亭一門の皆さんによる出前寄席



一 子ほめ / 十一さん
二 道灌 / 敏十郎さん
三、四 そば清 / よつべえさん



レトロな家で堪能する古典落語！
妙に相性もぴったりの空気感です

連載
企画

いろんな職種から見た 介護の仕事

(第10回)

職員ルー



志摩会に働く170人余りの職員の皆さんに仕事や職場、仲間への思いなどを語ってもらっています …

若い時は(介護の)仕事なんて絶対無理と見向きもしませんでした。時は流れ…



新川

(特養 介護福祉士)

いけない。私が何か手伝う事があるのではないかと、私がそこで働く、生まれ育ったこの糸島で』と大決心しました。

◆両親は既に他界しており、老いて介護される姿はありません。親が認知症だったらどうしているか、認知症の親を見ると、親を早くなくすのはどっちが大変なんだろうと考える時もあります。

◆介護の仕事はハードで心身と

もに疲れますが、ご家族から“母の表情が優しくなり、笑うようになって嬉しい”とか“とても家では介護できません、ありがとうございます”等と言われますと《ヨッシャー》とまた力が湧いてきます。

◆無性に海が見たくなった時は202号線の海岸線を車で走り、キラキラ輝く大海原にもエネルギーをもらっています。

◆入職8年目です。40代半ばに高齢者問題がマスコミでよく話題となるのを見て、『このままでは

ご利用者の調理に関する以上、自身が健康で、清潔であることを心掛けています



中原

(特養 調理員)

事に現場の忙しさも相俟って、戸惑うばかりでしたが、先輩方に支えられ、頑張っただけでした。

◆煮物の味がどうしても決まらない?そんな人も志摩園の出汁のとりかたを覚えれば大丈夫。シンプルの中に、深い味わいを一つ一つの素材に出してくれます。

◆私たちにとって手強いこと、それは料理の味見。空腹時は

何でも美味しく感じるし、食事後の味見は作り手も、味見する方も満腹で味見どころではありません。原因は、互いの弁当までつついて食べ過ぎてしまうからで、反省しています。

◆華道が仕事や家事を忘れさせ、無心にしてくれます。月の兎を白い胡蝶蘭を主に、ススキを対応させ、月明かりを表現した作品に挑戦中です。

◆母と一緒に祖母の介護をしていた時のご縁で、志摩園に勤めはじめて7年目になります。最初は全くの畑違いの仕

通所介護や特養の経験は、〈気配り・目配り・心配り〉の大切さを教えてくれました



水崎

(特養 介護福祉士)

両立することができました。

◆家では、自分の時間はなかなかもてず、誰に似たのかおしゃべりで元気一杯のやんちゃ娘2人と〇〇〇な旦那様にイライラすることも多いのですが職場に来てご利用者に接すると、笑顔で元気な私があります。

◆介護の仕事しか経験はないのですが、この仕事に就いて学んだことが普段の生活にも子育

てにも役に立っています。子供には成長にあわせて身につけてほしいと願っています。

◆現在三人目を妊娠中で、職場に報告と同時に働き方に配慮していただき、仕事を続けることができ、本当に感謝しています。体力のもつ限り働かせて頂き、出産・子育てが落ち着いたら必ず復帰し、一生懸命働きたいと思っています。

◆子供が小さいうちは、病気ばかりでご迷惑をおかけしていましたが、働きやすい職場で皆様に助けられ仕事と子育てを



11月11日 《認知症市民公開講座》を開催します

今回の講座は、日本介護経営学会（会長 田中滋・慶応義塾大学名誉教授）が実施する「認知症の早期発見促進のための教育プログラムと早期発見を初期集中対応に連続化させる効果的手法の開発に関する調査研究」の一環として実施します。

と き 平成28年11月11日(金)
18時30分～20時
受 付 17時45分～
と ころ 糸島市立引津公民館
大研修室
糸島市志摩御床2165-3
参加費 無料
定 員 120名
駐 車 場 引津公民館、引津小学校、
老人ホーム志摩園の駐車
場の利用可
お 申 込 社会福祉法人志摩会
電話092-328-2121

講師は、東北福祉大学教授で、日本介護経営学会副会長の小笠原浩一先生(写真)です。

自分自身や身近な人が認知症が疑われることになっても、人には知られたくない葛藤も自然かもしれません。

一方で、これらが認知症の早期発見と初動対応の動きへの障害となることがあります。

本講座は、学会が独自に作成した教材と評価スケールを用いて、認知症に対する正しい理解と地域住民の積極的で効果的な動きづくりに役立つ構成になっています。

主催 社会福祉法人志摩会
共催 日本介護経営学会
後援 糸島市

◆たからんたま志摩通所介護(認知症対応型)休止のお知らせ

諸般の事情により、たからんたま志摩認知症対応型デイサービスは平成28年9月末をもって事業を休止することになりました。当事業所ご利用者皆様の新たなサービスへの移行も完了し、これまで関わっていただきました関係各位に衷心から御礼申し上げます。

【編集後記】 敬老週間も近づき、少し涼しくなってきたのでこの夏のソーカツをする余裕が出てきました。7月18日に梅雨明けして8月25日までの雨量が糸島は1.5ミリとどこかのテレビ局のお天気コーナーで言っていました。雨は降らず連日真夏日が続いたことになりました。

志摩園での私の朝の日課は植栽の水やりです。5年目になると、木々の特徴が分かってきます。水分不足になると葉をどんどん落として省エネモードになったり、全ての葉を落としてしまうものもあります。今年はそんな目にあわせないよう梅雨明け後もたっぷり水を与えました。

その甲斐あって、概ね、みな元気だったと思います。特に玄関前のファサードを演出する植栽は春から夏にかけて、いろんな小鳥たちのとまり木になり、可憐なさえずりに梢を見上げ、作業の手を休めることもしばしば。蝶や蜻蛉の軽やかな姿もよく見かけます。

そして、この夏は3年ぶりくらいに、山鳩がそこに巣をかけ、一羽のヒナも9月6日朝に無事に巣立っていきました。自分も年を取りつつ、時の経過、季節の巡りを楽しむ人生がいいと思います。

駐車場に残した旧池のメダカも元気、中庭の新池に住む日本在来種の亀は今年も20匹以上の子亀を誕生させ、そのかわいい姿に癒されています。亀は人になつきます。フレンドリーなものから少し用心深いものまで子亀の個性も豊かです。

来年の春までは子亀用のプールで育てることになりますが、飼育したい方にはお譲りします。一方、今年はイラガ(デンキムシ)が異常発生し、痛い目にあう日が多かったです。

ということで、何の根拠もありませんが79点くらいの2016年夏でありました。(A・K)